

食品業界において海外で活躍できる  
標準化エキスパート人材を育成するために

令和元年度新たな種類のJAS規格調査委託事業

# 専門人材育成のための研修会 開催のお知らせ

## 開催にあたって

欧米主導の国際標準化活動が活発化する中、従来に多く見られてきた既存国際標準を遵守するという守りの立場から、新しく国際標準を提案・制定するという攻めの立場へと移り、国際的に活躍できる専門人材が必要とされてきています。

農林水産・食品関係の国際標準化においても、官民一体となった攻めの取り組みが緊急の課題であり、日本に必要かつ有利な国際規格策定に向け、国際会議等で活躍できる専門人材の育成・確保を目的にした研修会の開催をいたします。是非ご参加ください。

お申込み多数の場合は参加を調整させていただく場合がございます。  
その場合、会期の1週間前までにご連絡をさせていただきます。詳細は

<https://www2.jma.or.jp/qa/jas01>



参加無料

お問い合わせ先

一般社団法人日本能率協会 経営・人材革新センター

〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22 TEL:03-3434-1955

FAX:03-3434-6387

2020年  
**基礎編** 2月19日(水)

会場：カンファレンスランチ銀座（東京都中央区）

参加対象：

- 農林水産・食品産業の中でも海外でのビジネス展開に意欲を持つ企業で働く方
- これから国際規格化の世界に携わる方

参加定員：20名

2020年  
**応用編** 2月20日(木)

会場：カンファレンスランチ銀座（東京都中央区）

参加対象：

- ISOやFSSC認証を有する企業等で品質管理、知財管理、法務渉外などの職務に携わる方
- ISOやCODEX等に関する知識や利用経験がある方
- すでに国際規格化の世界に携わっている方

参加定員：20名

2020年  
**実務編** 2月21日(金)

会場：カンファレンスランチ銀座（東京都中央区）

参加対象：

- ISOやFSSC認証を有する企業等で品質管理、知財管理、法務渉外などの職務に携わる方
- すでに国際規格化の世界に携わっていて、更に理解を深めたい方
- 国際会議等、海外での国際規格化実務での対応の仕方を学びたい方

参加定員：20名

参加に際しまして 参加定員：各20名

基礎編、応用編、実践編の3つに分かれておりますが、実務者として活躍してもらうには基礎編～応用編～実践編と通して受講されることをおすすめいたします。

お申込み多数の場合は参加を調整させていただく場合がございます。  
その場合、会期の1週間前までにご連絡をさせていただきます。詳細は

<https://www2.jma.or.jp/qa/jas01>



食品業界において海外で活躍できる標準化工キスパート人材を育成するために

# 専門人材育成のための研修会

## 研修のねらい

本研修のねらいは、国際的なビジネスの場で高度に活躍できる人材の育成です。具体的には、国際的な規格制定や標準化の世界の現状を広く俯瞰し、国際会議や国際交渉において日本主導の立場を確保し、国内の農林水産・食品業界の発展のために国際標準化を技術面および政治面で推進できる人材の育成です。

工業分野のJIS(日本工業規格)については、国内規格制定に先立って国際規格策定に、国内産業界が深く関与するべき時代になりました。つまり、国際規格を先に制定し、それをJIS化することが主流になっています。農林水産・食品分野のJAS(日本農林規格)についても同様で、これまでのように国内市場の産物の品質確保を重点にしながらも、同時に海外での規格制定への先行的かつ積極的な関与が必要になりました。つまり、ビジネスの国際化の先行です。

本研修では国際標準化プロセスの基礎知識の習得に加えて、国際会議において必要とされる交渉関係技能(会議での決定や交渉での成功、ロビー活動、ビジネスマナー、英語力、プレゼン力など)を全般的に併せ持つ人材の育成を目指します。

さらに農林水産・食品関係の国際ビジネスを推進するべき立場にある企業人が、業界や企業の枠を超えて同じテーマに取り組むことで、農林水産・食品産業における国際標準化への機運を醸成し、国際会議や国際交渉において、企業や団体など、組織の枠を超えて協働する人材ネットワークの構築も目指します。

参加に際しまして 参加定員:20名

基礎編、応用編、実践編の3つに分かれておりますが、実務者として活躍してもらうには基礎編～応用編～実践編と通して受講されることをおすすめいたします。

## 研修の概略

日本能率協会が通常実施しているマネジメントシステム関連の研修ではなく、広く国際標準化についてを扱うプログラムとなっております。

### 基礎編

基礎編では、座学の講義で国際標準化の全体像を把握することを目的としています。本篇では、国際標準化の世界を広く俯瞰し、その中での国内規格の位置づけ、農林水産・食品関係標準の立ち位置を理解し、続いて国際標準化について素案作成から規格文書発行までのプロセスを広く学びます。最終的には規格・認証制度を活用した国際競争力の強化への意識を高めるとともに、規格・認証の作成・採択に係る実務に携わることができるよう、規格化作業に必要とされる最低限度の知識を得ることを目指します。

### 応用編

応用編では、座学の講義で成功する政治交渉など、対外折衝の理論を中心に学びます。本篇では、国際会議における技術と政治の関係について学ぶことを目的としています。日本発の標準には技術的な優位性の裏付け(大義名分)が必要となりますが、農林水産・食品分野では、文化的にマイナーな日本の提案内容が理解されず、海外諸国から政治的に否定されることもあります。そのような国際ビジネスの政治交渉に対応するために「決定する会議術・成功する交渉術・勝利する闘争術」の理論を学びます。

### 実務編

実務編では、会議や交渉のロールプレイなど、実践を中心にした演習をします。本篇では、国際会議における技術と政治の関係について学ぶことを目的としています。日本発の標準には技術的な優位性の裏付け(大義名分)が必要となりますが、農林水産・食品分野では、文化的にマイナーな日本の提案内容が理解されず、海外諸国から政治的に否定されることもあります。そのような国際ビジネスの政治交渉に対応するために「決定する会議術・成功する交渉術・勝利する闘争術」の実際を学びます。

講師:



桜美林大学大学院 客員教授  
原田 節雄

具体事例(特殊性)と研究よりも原理原則(普遍性)と実行の提唱者

役職

・一般社団法人 国際標準化協議会 理事  
・一般社団法人 ファインパル産業会 顧問  
(ISO/TC 281国内委員会副委員長)  
・学校法人 桜美林大学大学院 経営学研究所 客員教授

・東京工業大学 非常勤講師  
・経産省/農水省および日本規格協会  
/日本能率協会が主催する国際標準化人材育成講座講師

経歴

・ソニー株式会社コーポレートテクノロジー部門 技術渉外室 統括室長など(ソニー勤務40年)  
・一般社団法人 情報処理学会(情報規格調査会)規格理事  
・国際電気標準会議(IEC)電子実装技術専門委員会(TC 91)国際幹事  
・国際電気標準会議(IEC)標準管理評議会(SMB)日本代表委員

受賞歴

・2004年 経済産業大臣表彰(工業標準化事業への貢献)  
・2008年 内閣総理大臣表彰(国際標準化活動への功績)  
・2008年 大川出版賞(世界市場を制覇する国際標準化戦略)  
・2009年 情報処理学会(情報規格調査会)標準化功績賞

プログラム

10:00~18:00

お昼休憩(昼食はつきません):12:00~13:00

## 基礎編

2020年

2月19日(水)

参加無料

- 1 参加者自己紹介と講座内容解説など (10:00~10:30)
- 2 標準化とは何か、なぜ必要なのか (10:30~12:00, 13:00~14:00)
  - ・国際標準化の基礎知識
  - ・国際標準化の対象分野拡大の現状と今後
  - ・標準化の名の下に展開される共通化、寡占化、差別化
- 3 技術ルールビジネスの三種類 (14:00~15:30)
  - ・基準認証のビジネス
  - ・技術標準のビジネス
  - ・知的財産のビジネス
  - ・標準と知財の関係 — 技術のオープンとクローズド

— 休憩(15:30~15:50) —
- 4 国際標準化戦争のビデオ放映(50分) (15:50~16:40)
  - ・東京電力の超高圧1100 kV国際標準化 — 「UHV国際標準化」とQ&A
- 5 国際標準化の事例紹介 (16:40~17:00)
  - ・デンソーのQRコード国際標準化
  - ・JR東日本のスイカ(Suica)国際標準化
- 6 受講者同士の討議と、まとめのグループ発表 (17:00~18:00)  
受講者同士の懇親会 (18:30~ 自主参加)

プログラム

10:00~18:00

お昼休憩(昼食はつきません):12:00~13:00

## 応用編

2020年

2月20日(木)

参加無料

- 1 標準化ビジネスの3つのツール (10:00~12:00, 13:00~13:30)
  - ・ツール1 — 会議術:会議の種類と決定する会議
  - ・ツール2 — 交渉術:交渉の種類と成功する交渉
  - ・ツール3 — 闘争術:組織の種類と勝利する闘争
  - ・会議術、交渉術、闘争術のまとめと受講者間の議論
- 2 理想的な会議のビデオ放映(100分) (13:30~15:10)
  - ・「12人の怒れる男」

— 休憩(15:10~15:30) —
- 3 国際ビジネスの3つの基礎技能 (15:30~17:00)
  - ・基礎技能1 — プレゼンテーション技法
  - ・基礎技能2 — ロビー活動とビジネスマナー
  - ・基礎技能3 — 英語とタイプの常識
- 4 まとめグループ討議と成果発表、Q&A (17:00~18:00)

プログラム

10:00~18:00

お昼休憩(昼食はつきません):12:00~13:00

## 実務編

2020年

2月21日(金)

参加無料

※課外学習のみ  
会費制

- 1 技術と政治の両側面から知るビジネス戦略 (10:00~11:00)
  - ・現象と本質の理解 — 量と質と時間の考察
  - ・企業(家族・国家)を支える事業 — 複合と複輪の経営
  - ・企業(家族・国家)経営の四要素 — ヒト・モノ・カネとルール
- 2 会議ロールプレイの五種類 (11:00~11:20)
- 3 ロールプレイ1 — 洪水補償の交渉(解説のみ) (11:20~11:40)
  - ・役所、被害者、マスコミの三者の役割
- 4 ロールプレイ2 — 廃棄物処理に関係する三者合意(解説のみ) (11:40~12:00)
  - ・三者間のアナログ合意と事前交渉、時中交渉
- 5 ロールプレイ3 — サッカーチームとスポンサーの合意 (13:00~15:00)
  - ・二者間のアナログ合意と時中交渉(相手側の条件は未開示)
  - ・各グループの途中経過のまとめ
  - ・二者間のアナログ合意と時中交渉(相手側の条件を開示)
  - ・各グループの討議と結果発表、途中経過との比較

— 休憩(15:00~15:20) —
- 6 ロールプレイ4 — 高精細テレビ放送方式の試験電波(解説のみ) (15:20~15:30)
  - ・二者間のデジタル闘争と会議規則
- 7 ロールプレイ5 — 新デジタルテレビ放送方式の選択 ※英語 (15:30~17:00)
  - ・二者間と入れ子のデジタル闘争と事前交渉、時中交渉
  - ・各グループの結果と討議プロセスの発表
- 8 講座総括のグループ討議と結果発表、意見交換など ※英語 (17:00~18:00)

課外学習:洋食のテーブルマナー (18:45~)

任意参加(ご希望者は研修会申込時にご選択ください)、会費制(税込6,000円を予定)